

2016.12.30

運用状況のご報告

取締役最高投資責任者 草刈 貴弘

皆様の「さわかみファンド」は、12月に入ってからジリジリと基準価額を上げていきました。振り返ってみると今年は想像以上に素早く、大きく上下に変動する市場でしたが、そのような環境下でも一定の現金を持ち暴落するリスクに備えつつ、資源関連や素材、機械などの割安になった企業へ一年で86億円の追加投資を行いました。そういった企業の株価が年後半のトランプラリーで大きく回復したこともあり、現金比率を保ちながらも市場の勢いに追走することができました。

2016年は、まさに『想定外』という言葉しか思い浮かばないほど従前の予想がことごとくひっくり返される年だったと思います。年初こそ想定通り中国市場の混乱などから下落し、為替も同様に円高方向へ動いていきました。しかしながら、日銀がマイナス金利を採用したことや消費税増税の延期、BREXITといったことが重なりドル円レートは100円を超える円高となりました。為替は日本企業の収益に大きく影響を与える要素でもありますから、これによって株式市場に下落圧力が加わるかと思いき、大きく下げる時にはアクセルを踏もうと考えていました。しかし7月末に日銀がETF買いを増額するなど市場は底堅く推移し、当初想定していたほどの買い増しはできませんでした。極めつけは米国の大統領選です。これについては二つの点で想定外でした。一つ目はトランプ氏が当選したこと。二つ目は、それに対して金融市場が好意的に反応したことです。市場が不確実性の高まりからリスクオフへと急激にシフトすると考えていましたが、全く異なる結果となりました。私たちはどちらかに賭けているわけではないので、どちらになろうとも問題ないよう準備をしていたため結果として大きな痛手はありませんでしたが、想定外を想定しておくことの重要性を再度認識させられました。

2017年は世界の転換点となる可能性があると思っています。米国の今後の変化は世界に大きな影響を与えるという意味でも注視しなければいけませんし、欧州の選挙については今後もEUが継続できるかの試金石となるでしょう。それ以外にもそれぞれがロシアや中国との経済的、外交的問題を抱えていますし、中東の力関係の変化や移民の問題、テロへの懸念も無視できません。

リーマンショックのきっかけとなったサブプライムローン問題が顕在化してから10年を迎えます。想定以上の事が起こるかもしれませんが、生活者目線を忘れず実体経済を支える企業に対して長期投資をし続け、嵐が起ころうと着実に船を前進させたいと考えています。

※さわかみファンドにおけるリスク・手数料については、最終ページに記載の「ご留意事項」をご覧ください。

ファンド情報 2016年12月29日現在

顧客数(直販分)

115,796名(直近1か月 -226名)

定期定額購入 契約数

36,854名(全体比31.8%)

※マイナンバー書類のご提出の影響により顧客数が減少しております。

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日(金額変更・中止): 1月19日(木)

振替日(引落日): 2月1日(水)

約定日(買付日): 2月9日(木)

約定日(買付日)とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります。)

お知らせ

「特定口座年間取引報告書」の交付について

2016年(平成28年)分の「特定口座年間取引報告書」の発送について以下の通りお知らせいたします。なお、本報告書は交付対象となるお客様すべてに書面を郵送いたします。(電子交付サービスの対象ではありません)

交付予定日	2017年1月13日(金)から順次郵送
交付対象	特定口座にて2016年に対象取引(換金)があったお客さま

<ご注意>

- ◆特定口座にて2016年に対象取引(換金)がなかったお客さまには交付されません。請求される場合は、ご縁の窓口までご連絡ください。
- ◆確定申告を行う際に添付する「特定口座年間取引報告書」は、電子交付されたPDF等をプリントアウトしたものは認められておらず、金融商品取引業者等から交付を受けた書面が必要とされています。過去に電子交付されたPDFファイルの「特定口座年間取引報告書」をお持ちのお客様はご注意ください。

お問い合わせは「ご縁の窓口」まで
TEL 03-6706-4789 営業時間 平日8:45~17:30